

## 【樹木の部屋】

### ソテツ（ソテツ科ソテツ属 *Cycas revoluta*）

**和名**：蘇鉄 **分布**：九州南部、沖縄～八重山諸島 海沿いの崖地などに生育

**花期**：6～8月。花は茎の先につく、雌雄異株

**名のいわれ**：この木が弱り枯れそうになったとき、茎に鉄釘などをさすと元気に蘇るといふ、いつたえからついた名前です。お寺に多く植えられています。

**葉の形**：濃い緑の線形の小葉が多数並び、大形の羽状複葉

**果実**：雌花が熟し、朱色の多肉果をだします。多肉果は平べったい卵型、約4センチ中の種子は核果状\*です。



⇒ **写真-1** ソテツ（葉）

撮影日：2012年8月5日

撮影場所：滋賀県大津市

T邸にて

撮影者：Tさん

<撮影者コメント>

もう、7年くらい経つでしょうか。15cmくらいの小さいのを買ってきました。大きくなりましたが、背丈がなかなか大きくなり

ません。肥料はやっているんですが。

**主な世話**は、暖かくなってきたら水やりは朝、晩しっかりやること。肥料もしっかりやる。冬は葉にコモを巻いて保護します。水はあまりやっていません。小さい時は、地植えせず室内の明るいところで育てないと枯れてしまいます。



← **写真-2** ソテツの鉢植え

撮影日：2012年8月7日

撮影場所：奈良県広陵町

S邸にて

撮影者：Sさん

## 【樹木の部屋】

写真-3 ソテツの株元 →

撮影日：2012年8月7日

撮影場所：奈良県広陵町  
S邸にて

撮影者：Sさん



<ちょっと一言>

大きくなるのに時間がかかりますが、成長すれば樹高は8 m以上になります。

種子には澱粉分も多く含まれていますが、猛毒成分サイカシンが含まれる。沖縄では古くから、飢饉のときのための救荒植物として栽培されていたといわれます。食用にするためには、十分な水洗いなどの除毒が必要です。あくまで、他の食料が乏しい時の救飢食として利用されているので、素人が安易に試すのは避けるべきです。

近年では、新芽を食害する熱帯アジア原産のクロマダラソテツシジミ *Chilades pandava* が日本で生育し、問題となっている。

\*核果(かくか)は果実の1タイプで、一般的なイメージにおける果実に近いものの一つで、中心に大きな種が1つ入っているものです。例えば、果物でモモを考えてみてください。

\*\*ソテツの実がなったら写真の更新予定です。\*\*